

2016年6月

2015年度  
「決算報告書」

(2015年4月1日～2016年3月31日)

( 添 付 )

☆「計算書類」

- ・「貸借対照表総括表」「内訳表」
- ・「正味財産増減計算書」「内訳表」
- ・「収支計算書総括表」
- ・「財産目録」
- ・「附属明細書」
- ・「財務諸表に対する注記」

☆「監査報告書」

公益財団法人  
全 労 連 会 館

## 「2015年度決算報告書」

「公益財団法人の財政管理」として、収入・支出とも「公益事業会計」「共収益事業会計」「法人会計」の3区分で予算を立て、同じ区分で決算をしています。(別紙)

### 1 収入の部

①「会費収入」と「賃貸料収入」「貸車庫・倉庫収入」は、予算通りの収入となっています。

②「会議室収入」は、館内団体(公益事業団体)の利用が前年を上回り、外部組織(共収益事業団体)の利用数も新しい団体の利用数が増え、全体では前年比・予算比とも大幅に上回りました。

③「教育事業収入」は、書籍の交換頻度を多くし、本の種類も多くするなどの工夫等の結果、売上数が増え、不明金も少なくなり、前年比・予算比共増額となりました。

④「印刷事業収入」は、各団体の活動量が増え、「全面委託の看板作成」も増え、予算を大幅に上回りました。

⑤「図書資料室収入」は、労働総研との共同運営費、レッドページ反対全国連絡センターへの事務所の一角の貸与の維持費を含め予算通りです。

⑥「雑収入」は、自販機売上マージンその他ですが、販売数が増え予算を上回りました。

⑦ これらにより、今期の収入総額は、予算より約435万円多い **97,602,861**円となりました。

### 2 支出の部

今年度は、財政活動の安定的運営を進めるために、予算枠内執行に努力をしました。その執行状況は別紙の通りです。

①「**管理費支出**」＝ 会館の維持管理にかかわる諸支出については、極力節約を心掛けて運営を行ない、ほぼ全て予算内で執行できました。

人件費と役員報酬、雑給（派遣者等の給与）とも、予算内執行となっています。

法定福利費、福利厚生費、諸会費、旅費交通費、新聞図書費、中退金掛金、資料センター費も予算内執行となっています。

支払利息が予算をオーバーしたのは、借入金の利息計算に若干のミスがあったためです。

②「事業活動支出」＝ 公益事業、共収益事業に関する諸支出費も極力節約を心掛け、ほぼ全て予算内執行となりました。

教育事業費は、教育事業収入の増に伴う支出増のため、予算を上回っています。

渉外費、通信費、水道光熱費、租税公課、備品・事務用品費、事務費、修繕費、会館警備費、施設清掃費、保険料、施設維持費、会議費、雑費は予算内に抑えることができました。

消耗品費が予算より増えたのは、印刷事業収入増に伴う、印刷用ロール紙とインク代等の増によるものです。

③「特別支出」＝ 固定資産（備品＋設備）は、警報装置とカードの交換や正面玄関側と通用口側の監視カメラ、録画装置の購入、ロビーの監視カメラの交換等の費用です。

退職引当預金は、予算通り200,000円を預金しました。

会館建設から14年目となり、全館の空調設備の交換等が必要となっており、予算より300万円多い、800万円の修繕引当積立を行いました。

修繕積立預金の前年度までの残高は 22,881,567円となっておりましたが、今年度積立てた800万円と預金利息 5,281円をプラスして、30,886,848円となりました。

長期借入金については、今期自治労連へ返済期限までに2,000万円の返済を行い、新会館建設時の「長期借入金」は、完済しました。現在残っている「借入金」は、「大規模修繕費用」として、全労連と全日本民医連から借り入れている分です。」

期末現在の借入金の残高と返済期限は下記のようになっております。

借入先 団体名	期末借入残高	備 考
全日本民医連	1,000万円	契約期限 2017.5.31
全 労 連	2,000万円	契約期限 2018.4.30

今期、6月の定時評議員会で理事長が替わり、坂内理事長に「役員規定」に基づき「退職金（150,000円）」を支払い、「退職積立預金」より繰り出したため「特定

資産取崩し」を行っています。

④ 今期は未払い法人税 1,240,000円と滝野川資料センターが「従たる事務所」と都税事務署より指摘され過年度分を含め162,800円の合計 1,402,800円を法人税として支払っています。

消費税は中間が501,300円、確定納付分が 914,700円の合計1,416,000円と、法人税・消費税共収入増に伴い前年度より大幅に増えています。

⑤ 以上の結果、今期の経常支出総額は、92,728,395円となり、未払い法人税や特定資産取崩収入を含め、当期の収支差額は、3,621,666円のプラスとなりました。

その結果、前期繰越金59,829,535円と合計すると、次期繰越金は、63,451,201円となります。

### 3 「減価償却費」について

今期減価償却の処理は下記の通りです。

	今期計上額	累積計上額	備考
前年度迄の累計		400,030,403円	
今年度減価償却額	30,910,490円	430,940,893円	

### 4 「貸借対照表」「貸借対照表内訳表」「正味財産増減計算書」「正味財産増減計算書内訳表」「収支計算書総括表」「財産目録」「附属明細書」「財務諸表に対する注記」 (別紙)

### 5 「監査報告書」 (別紙)

(以上)